

〈とちぎ地産地消費大賞 審査の視点〉

とちぎ地産地消費県民運動実行委員会

審査は、次の審査の視点に基づき総合的に行うものとする。

項目	審査の視点
取組の体制	<ul style="list-style-type: none"> ・取組の体制が整っており、持続的な取組が期待できるか。 ・他団体や企業などと連携や協力関係があるか。 ・地場産物の生産・加工技術等の伝承・普及のための人材育成が行われているか。 ・農林水産業の担い手や組織の後継者の確保に繋がっているか。
生産や供給の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かした農産物を安定的に生産しているか。 ・GAPや有機栽培、地域循環、輸送の工夫など、安全性や環境に配慮した生産をしているか。 ・適切で効率的な流通体制を整備しているか。 ・消費者や実需者のニーズに対応した地域産物を安定的に供給するための取組や工夫が行われているか。
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売所等における地場産物の消費が拡大しているか。 ・観光施設、レストラン、食品産業等との連携により地場農産物の供給が増大しているか。 ・6次化やブランド化等により地場産物の付加価値が高まっているか。 ・規格外品の有効活用が図られているか。
情報発信と理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者と消費者の交流・体験活動などの食育活動に取り組み、地場産物の魅力や食の大切さなどを伝えているか。 ・地域の伝統野菜や伝統食の継承に取り組んでいるか。 ・食や農、地場農産物に関する情報発信を定期的に行っているか。 ・SNSを活用するなど、消費者と実需者、消費者とコミュニケーションを図るための工夫をしているか。
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の活用が行われているか。 ・地域資源の活用が地域活性化に繋がっているか。 ・雇用の促進や関連産業の拡大など地域の活性化に繋がっているか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性、新規性のある取組が行われているか。 ・計画性、継続性のある取組が行われているか。 等